

国際農業工学 4月21日レポート  
国際開発コンサルタントとは

国際開発コンサルタントとは、「高度な専門技術と経験を背景に、実際に現地ですまざま調査や具体的な作業を実施し、中立的な立場から援助プランをひとつひとつ実現していく、頼もしいパートナー」（一般社団法人海外コンサルティング企業協会 HP より）である。つまり、国や世界銀行などの国際機関や JICA、JBIC などが国別・地域別の視点から途上国援助を企画・立案したものを、実際に実行に移す際に活躍するのが国際開発コンサルタントである。

開発コンサルタントが対象とする仕事の範囲は広く、開発計画の作成への技術的支援から、橋や道路の整備、農村の給水施設の建設などと内容・規模も実に多様である。今回お話を伺った NTC インターナショナルに関しても、エネルギー開発、農業・農村開発、水資源防災、コミュニティ開発地域開発、自然環境保全・環境管理、研修事業・研修プログラム、紛争予防・平和構築の7つの分野に渡っている。今日で主要に取り上げられる国際問題には、民主化・市場経済化、地球環境、エイズ、地雷対策、社会的弱者への対応など、それぞれの分野で高い専門性や技術力が求められる。

印象に残ったことは私が「商社などのビジネス的な国際開発と、開発コンサルが行う支援協力的な国際開発、それぞれに対する考えを教えて欲しい」という質問に対する岩本社長の「開発コンサルタントは問題を抱えた現地の人々のために力を尽くす仕事」という答えだ。国際開発に関して考えるとき、利益追求を開発の原動力にするのか、苦しんでいる人々の支援を目的に開発を進めるのかは大きな問題になる。確かに、大規模な開発を行い大きな変化を起こすためにはビジネスという視点で参入することも時には大切である。しかし、最終的に見た全体的な利益のために無視され、犠牲を強いられた人々もいる。だからこそ、そこに住む人々の視点で問題解決に取り組む開発コンサルタントは無くてはならないものであり、そこにやりがいも生まれるのだと思う。私はまだそのどちらから開発に取り組むかは決めていないが、双方の重要性と長所・短所を常に意識しながら今後も国際開発を学んでいきたい。

参考文献・URL

岩本社長レジュメ

NTC インターナショナル HP <http://www.ntc-i.co.jp/>

一般社団法人開発コンサルティング企業法人

<http://www.ecfa.or.jp/japanese/index.html>